

治山林道協会報



第39回治山林道写真コンクール **最優秀賞** 森本 康太

目次

CONTENTS

- 第65回通常総会開催 … 1
- 林野公共事業予算に関する要望活動 … 3
- 令和5年度日本治山治水協会定時総会開催 … 5
- 令和5年度全国森林土木建設業協会定時総会開催 … 6
- 第35回施工委員会開催 … 7
- 令和5年度施工管理技術基本研修会開催 … 12
- 令和5年度森林土木総合技術研修開催 … 13
- 県人事異動 … 14
- 第39回治山林道写真コンクール … 15
- 本協会の主な動向(4月~10月) … 15
- 編集後記 … 15

第65回 通常総会 開催



山口会長挨拶（ビデオメッセージ）

第六十五回徳島県治山林道協会通常総会が、七月三日徳島市の徳島県建設センターにおきまして、関係者約九〇名の参加により開催されました。

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の五類移行後、初めての総会ではありましたが、ご来賓として林野庁治山課長河合正宏様、徳島県知事 後藤田正純様、徳島県議会議員 岡田理絵様をはじめ多くの方々にご臨席いただきました。

山口会長は、国会での公務のため欠席となりましたが、冒頭にビデオメッセージにより、国土強靱化対策等に係る林野公算の確保に関する話題を交えた挨拶をいただいた後、議事につきましては、後藤副会長が議長に就き、議案第一号「令和四年度事業報告並びに収支決算の承認について」、議案第二号「令和五年度事業計画並びに収支予算の承認について」、議案第三号「令和五年度借入金 の最高限度額の承認について」、議案第四号「役員 の選任について」、議案第五号「その他」についてご審議いただき、いずれも原案どおりに承認をいただきました。

また、議事に先立ち、林道維持管理を始め、治山林道工事等において功績のあった方々を表彰する式典が行われました。今回の表彰は、第四十五回林道優良維持管理者の知事表彰並びに治山林道協会会長表彰、令和四年度優良工事施工者表彰の治山部門・林道部門・森林整備部門の各協会会長表彰を行いました。そして、この度の役員改選において退任されました後藤副会長ほか五名の方に、役員功労表彰規程に基づく、感謝状の贈呈を行いました。

受賞された皆様方に心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍・ご精励を御祈念いたします。

なお、今回の各賞の受賞者の紹介と徳島県治山林道協会の役員名簿は、次のとおりとなっております。



岡田議長挨拶



後藤田知事挨拶



林野庁 河合課長挨拶



感謝状贈呈



知事表彰

徳島県治山林道協会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長 理事	山口 俊一	衆議院議員
副会長 理事	松浦 敬治	東みよし町長
〃	西村 裕	徳島県建設業協会会長
理事	原井 敬	吉野川市長
〃	加美 一成	美馬市長
〃	河野 雅俊	神山町長
〃	橋本 浩志	那賀町長
〃	重清 佳之	徳島県県議会議員
〃	岡本 富治	徳島県県議会議員
〃	平田 茂	徳島県建設業協会 脇町支部長
〃	岡村 純夫	徳島県建設業協会 川島支部長
〃	榊野 千秋	木頭森林組合長
専務理事	井関 廣幸	事務局
監事	花本 靖	上勝町長
〃	町田 寿人	阿波市長
〃	多田 久仁男	徳島県建設業協会 海部支部
顧問	川原 哲博	前副会長理事

任期は令和5年度総会から令和7年度総会まで

第45回 林道優良維持管理者

(知事賞)

管理主体	代表者	路線名
美馬市	市長 加美 一成	木屋平木沢線

(会長賞)

管理主体	代表者	路線名
東みよし町	町長 松浦 敬治	大藤奥村線

令和4年度 優良工事施工者

○ 徳島県治山林道協会会長表彰 治山事業

三好市	腕土建(株)	宮成 幸宏
神山町	(有)司建工	森下 隆司
美波町	(有)井上建設	井上 貴之

林道事業

美馬市	(有)平田組	平田 茂
三好市	(有)東瀬建設	東瀬 満水
海陽町	(株)谷田組	谷田 勝良

森林整備事業

美馬市	美馬森林組合	武田 喜善
-----	--------	-------

林野公共事業予算に 関する要望活動

去る八月二十三日、農林水産省林野庁長官室において、山口会長、西村副会長を始め施工委員会メンバーが、青山長官と小坂次長に対し、令和六年度当初予算に向けた林野公共事業の推進・拡充についての要望を行いました。

山口会長は、国民の安全・安心な暮らしを実現する「治山事業」による「緑の国土強靱化」の推進、そして「グリーン成長」の実

現を目指すために不可欠な「林道事業」の推進するために必要な当初予算における安定的・継続的な確保、及び補正予算のしつかりとした対応についての要望を行いました。

これに対し、青山長官からは、「林野公共事業」は地方の山間部を元気にする事業として、あらゆる機会をつかまえて、しつかりと取り組むとの力強い回答をいただきました。

また、森林整備部長室において、長崎屋森林整備部長、木下整備課長、河合治山課長らに対し、徳島県の森林土

事業の現状並びに本県独自の担い手対策である「土育」について説明するとともに、予算確保に向けた要望を行いました。

更には、徳島県選出国会議員の中西参議院議員に対し、徳島県治山林道協会の令和六年度予算の要望活動を行い、各事項について御理解を頂きました。要望事項の内容は次のとおりです。



林野庁長官室にて



森林整備部長室にて



林野公共事業予算に関する要望書

平素は、治山林道事業の推進並びに本会の活動につきまして、格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

長年続くコロナ禍は、感染症法上の位置づけが5類に移行したものの、未だに収束が見通せない中、ウクライナ危機をはじめとする国際情勢の混乱が我が国の社会経済活動に大きな影響を及ぼし、森林・林業を取り巻く現状にも深刻さが増しているところです。

この様な中、国におかれましては、防災・減災、国土強靱化や林業の成長産業化、地球温暖化防止等の対策を行う林野公共事業予算の確保に、迅速かつ継続的に取り組んでいただき、深く敬意を表します。

さて、本年も九州や東北をはじめ全国各地において、線状降水帯を伴う記録的な大雨による山地災害が相次いでおり、多くの尊い人命や貴重な財産が奪われるなど、日本列島は、いづどこで大規模な自然災害が発生するのかが予想のつかない状況にあり、

国民の安全・安心に関する意識は、益々高まっているところです。

こうした中、地方においては依然として厳しい財政事情のもと、地方創生実現のため、国産材の安定供給体制の確立に向けた生産基盤の整備や再造林をはじめとする適正な森林管理をより一層推進することが喫緊の課題となっています。

これらに対応するためには、激甚な山地災害等に備える事前防災・減災対策の推進や持続的林業経営に向けた幹線林道整備の加速化など、「緑の国土強靱化」に資する治山林道事業の円滑な遂行が不可欠であります。

つきましては、令和六年度 当初予算において、次の項目について特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に推進するために必要な予算について当初予算にお

いても安定的・継続的に確保

○集中豪雨や台風、南海トラフや活断層帯の地震による大規模災害に備える事前防災・減災対策、復旧対策の充実・強化など「緑の国土強靱化」の推進

○「グリーン成長」の実現を目指す「森林吸収源対策」の強化や「林業の成長産業化」において重要な生産基盤となる幹線林道を核とした路網整備の推進

○山間奥地、急斜面等条件不利地での施工における厳しい現場条件に即した設計積算による適切な費用の確保

○中山間地域の建設業者への若者をはじめめとする担い手の就業に繋がる「人材育成の推進」に向けた環境の整備

令和五年八月

徳島県治山林道協会

会長 山口 俊一

令和五年度日本治山治水協会 定時総会開催



日本治山治水協会定時総会開催状況



山口会長の挨拶

令和五年九月十三日、東京都千代田区のルポール麹町において、日本治山治水協会の令和五年度定時総会が開催されるとともに、本協会の八十五周年記念事業として治山功労者の表彰及び記念講演が行われました。

はじめに、山口会長が挨拶に立たれ、「新たな気象状況の中で、毎年甚大な災害が発生しており、『国土強靱化5か年加速化対策』の予算措置もなされているものの、まだまだ多くの山地災害危険地区があり、国民の皆様の安全・安心の確保、山村の活性化に向けた一層の取り組みが大切である。そのためにも、議連の予算要望活動や『治山・林道のつどい』開催により、都道府県協会と一体となって、年末の予算編成に向けて全力で取り組みたい。」との力強い挨拶がありました。

続いて、創立八十五周年記念治山功労者として表彰式があり、本県からは当協会の前副会長 後藤正和氏と前理事 坂口博文氏が、青山林野庁長官から長官賞を授与されました。誠にありがとうございます。



創立85周年記念治山功労者表彰



次に、来賓として出席された青山林野庁長官が祝辞を述べられ、「山地災害の広域化・激甚化を踏まえ、集中的な森林整備・治山対策を進め、地域の安全・安心の一層の確保が図られるよう、林野庁としても林野関係予算の確保に全力で取り組んで参る。」とお言葉をいただきました。

続いて山口会長が議長に就任し、議案第一号から第五号まで全会一致で原案どおり承認されました。

総会に引き続き、創立八十五周年記念講演として東京大学名誉教授の太田猛彦氏により、「治山治水のこれまでとこれから」気候危機時代の治山事業」と題して講演がありました。

令和五年度全国森林土木建設業協会 定時総会開催



定時総会開催状況



労働安全功績者 平田茂理事

令和五年六月二十一日、東京都千代田区霞山会館において、全国森林土木建設業協会の定時総会、並びに創立四十周年記念講演会が開催されました。

織田林野庁長官をはじめとしたご来賓参加のもと、四年振りに通常規模で総会が開催され、嶋崎会長の挨拶、織田長官らの祝



受賞者記念撮影

辞の後、全議題とも全会一致にて、承認されるとともに、要望に向けた決議が採択されました。また、平成二十一年から十四年間にわたり会長に就任された嶋崎氏がご勇退され、後任に群馬県会長の山藤氏が会長に選任されました。

定時総会に先立ち、令和五年度「全森建」表彰式が行われ、永年にわたり森林土木事業の発展等に顕著な功績のあった方々が表彰され、本県からは当協会の理事である平田茂氏が労働安全功績者として、嶋崎会長から表彰状が授与されました。誠にありがとうございます。

また、総会後の記念講演会では、九州大学農学研究院教授の執印康裕氏の「自然災害の変化からみる森林の防災機能とその限界」と題した講演がありました。

第三十五回施工委員会開催

第三十五回施工委員会が六月八日、徳島市の徳島県建設センターにおいて、開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の五類移行に伴い、四年振りに通常規模にて実施しました。

徳島県からは田中森林整備課長をはじめ、各県民局の代表者らが出席し、まず、県森林整備課担当者から令和4年度の四国地域ブロックの要望事項に対しての林野庁見解、及び今年度の徳島県の入札・契約制度の改正点についての説明がありました。続いて県内各支部の改善要望事項につ

いて、各委員から説明後、県担当者から改善に向けての回答がありました。

近年、技術面や施工歩掛・管理、工事環境、また入札・契約制度が変化する中で、その早い変化に対応できず、現場が非常に苦慮する事態が生じています。このため、当委員会において、現場の実情を共有する体制を整え、適正に対応できるよう進めてまいりたいと考えております。

令和五年度改善要望についての見解は次のとおりです。

令和五年度 改善要望についての見解

改善要望事項

見

解

I 治山・林道共通事項

1 少規模施工のコンクリート単価について

【徳島、吉野川】

近年、毎年のようにコンクリートの価格が上昇しているが、今年度より少量のコンクリートの単価が値上げされると聞いている。

業者としては、ロスが出ないよう努めているところであるが、小型の構造物が多くある場合、どうしてもロスが発生するため、補正等の対応を検討して頂きたい。

(参考) 2㎡未満 3,000円/㎡ 1㎡未満 6,000円/㎡

2 通勤用モノレールの設置基準の条件緩和について

【徳島】

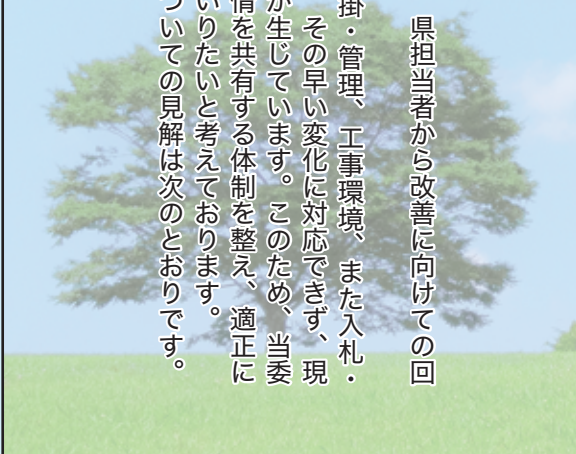
昨年度、急斜面を徒歩で通勤する現場において、通勤用モノレールを設置したところ、負担がかなり軽減され、効率的な作業を確保することが出来た。今後とも設置を検討したいが、昨今作業員が高齢化が進んでいるため、更なる設置基準の条件緩和について検討して頂きたい。

建設資材の価格高騰への対応について、昨年10月以降は、毎月価格改定を行うとともに、12月契約案件以降は契約時単価に変更を行っています。

狭隘・急峻地で行う治山林道工事では、小規模構造物の施工が不可欠であり、施工に際して請負者に負担を掛けていることは認識しております。

引き続き適正な施工管理の実施により、現場に即した効率的な打設計画に協力をお願いします。

「徳島県森林土木工事モノレール(人員輸送)設置基準」を令和4年7月に策定、同年7月15日以降の森林土木工事から適用しており、現在の設置基準は「施行地の中心地まで徒歩による移動において片道15分以上を要する現場」または、「降車地点から施行地の中心地までの高低差が50m以上となる現場」としています。



3 安全衛生設備について

【美馬】

治山・林道の工事現場は山間部で、携帯電話の電波の届かない場所が多く、もし、労働災害が発生した場合、迅速な連絡や対応に支障をきたす可能性がある。

このため、衛星電話(10,000円前後/月)や衛星通信機器(10,000円前後/月、初期費用約4万別途)を設置し、その際発生する費用について設計計上出来るよう検討して頂きたい。

4 生コンクリートの打設について

【美馬】

現在、ポンプ車によるコンクリート打設の生コンクリートの配合は、スランプ値が8cmとなっているが、それでは生コンクリートの流動性が低く、生コンクリートが配管内に詰まってしまうことが多く発生している。このため、スランプ値を変えられない代わりに、フライアッシュを使用した生コンクリートの使用を検討して頂きたい。

※細骨材(砕砂の使用が多い) 流動性を高めるためフライアッシュⅡ種(40kg/m³)程度使用。

四電フライアッシュ若しくはポンプ車打設で発注する現場については、設計の段階からスランプを8〜12骨材を20(25)で発注して頂きたい。

5 ICTの活用について

【美波】

ICT施工機械の活用については、山間部等である場合、GPS等の制約により施工機械の活用が困難な状況が考えられる。

しかしながら、海岸工事の防潮堤盛土工事など比較的容易な工種においては、受注者側もICT施工は取り組み易いため、起工測量から完成までの出来形管理についてレーザースキナー等の活用を検討して頂きたい。

設置条件については、設置実績を集約した上で、必要に応じて今後検討して参ります。

山間奥地の通話圏外における緊急時の通話手段としては、衛星電話の活用が可能とされております。

衛星電話を活用するための経費計上については、共通仮設費の安全費にリース代として積み上げ計上が可能ですので、監督員と協議してください。

現在、県の工事単価にはフライアッシュを利用した生コンクリートの単価設定は無く、生コン工場についても県内に対応可能な工場は無いものと認識しています。

背景として、フライアッシュコンクリートを扱うJIS認定の取得に新たな設備投資が必要となることも要因の1つと考えられます。

このような状況から、現状ではフライアッシュを利用した生コンクリートの使用は困難と考えていますが、今後とも他県の取組状況等、情報収集して参ります。

農林土木工事では、「遠隔臨場に関する試行要領」、「情報共有システム活用試行要領」の運用を行っており、同要領では【受注者希望型】を設定していますので、積極的に活用いただき、現場の円滑な進行に協力をお願いします。

また、現場立会は情報共有システムにより、スマホ等にて遠隔臨場を実施し、受発注者の時間的な負担軽減と、実施する上での課題などを早期に改善できるように、ICT活用への取り組みをお願いしたい。

6 施工に手間がかかる木製構造物の施工歩掛けの見積もりについて【美波】

木製構造物においては、ほとんどの場合設計歩掛けでは赤字施工となることが多い。

このため、公告時において施工歩掛け見積もりを入札参加業者より提出させ、その平均歩掛けなどを設計歩掛けとして採用することが可能か検討して頂きたい。

また、採用された歩掛けにより工事を発注し、工事完了後に改めて受注した業者に歩掛け調査を行い将来の歩掛けに反映することは可能と思うが、検討して頂きたい。

7 支障木伐採後の集積作業に係る費用について【那賀】

集積作業に係る費用の計上を検討していると聞いているが、その検討内容についてご教示願いたい。

II 治山事業

1 治山工事における（仮設工）乗用モノレール設置基準について【吉野川】

治山工事において、乗用モノレールの設置は労働環境の改善になるため、必要な現場において設置を検討したいので、設置基準の詳細をご教示願いたい。

急峻な地形での施工が多い治山事業では、木製構造物の施工が負担であることは認識しており、林野庁に対して「施工歩掛の改善要望」は機会あるごとに行っています。

今後も、現場での歩掛調査などにより施工実態を把握した上で、改めて林野庁への要望を行いたいので、調査への協力をお願いします。

残土処理場や林業作業用施設（土場）等の設置において、広範囲に伐採木の集材作業を行う場合は、治山林道必携の集材歩掛を適用し、集材費を設計計上しています。

「徳島県森林土木工事モノレール（人員輸送）設置基準」を令和4年7月に策定、同年7月15日以降の森林土木工事から適用しており、現在の設置基準では「施行地の中心地まで、徒歩による移動において片道15分以上を要する現場」または、「降車地点から施行地の中心地までの高低差が50m以上となる現場」と規定しています。

2 治山水路における土留工の施工について

【三好】

治山の水路工事において施工する土留工はその設計高にに応じて法勾配が定められているが、現在多くの場合において下流側勾配1・0・3、上流側勾配1・0・1で設計されている。

このため、山腹の状況により、上流側型枠の組み立て及び脱型時に非常に危険を感じることもある。

については裏型枠を使用せずに裏型枠代用の石積み等での設計、又は設計変更することが可能か、検討して頂きたい。

3 残存型枠について

【三好】

治山ダムにおいて残存型枠を設計に組み入れた現場が散見されるが、施工性もよく、出来形管理もしやすく、更に脱型作業時の法面崩壊などによる危険性、あるいは打設前に埋戻しができるため転落の危険性が低くなるなど、メリットも多いと思われる。

このため、県産材の活用促進にもなるので、今後とも積極的に導入していただきたい。

4 コンクリート堰堤における背面埋め戻し費用について

【美波】

コンクリート堰堤の型式により背面埋戻しラインが違ふと思われるが、設計数量上にて埋戻土量の計上がされてなく企業努力にて埋戻しをしているのが現状である。

このため、設計数量にて計上することが可能かご教示願いたい。

Ⅲ 林道事業

1 林道工事における車転回場所の養生などの仮設置について

【美波】

基本的に、大型ダンプトラックなどにより残土運搬を設計した場合、受注者において大型車両等の安全な転回等を考慮し、大型土のうや敷鉄板などにて養生し工事車両の安全確保を行っている。

掘削過程において、「土質が脆弱で安定勾配の確保が難しい場合」や「脱型作業に危険が生じると判断出来る場合」は、石積工などへの変更が可能であるので、監督員と協議してください。

治山ダムの上流側型枠について、令和3年度から施工性や安全性を考慮して、原則、残存型枠を使用することとしています。
今後、施工面や安全面への配慮、県産材の利用促進も踏まえ、積極的な利用に努めて参ります。

治山ダムの積算においては、「埋戻し」としては数量計上をしていないところですが、掘削単価に埋戻に係る経費を上乘せして積算しています。

工事実施にあたり仮設工の追加が必要な場合は、監督員と協議してください。

このため、現場施工箇所状況により大型土のうや敷鉄板などの仮設養生の協議が可能か、検討して頂きたい。

2 コンクリート擁壁工の施工歩掛けについて

【美波】

通常のコンクリート擁壁工の型枠施工歩掛けは、施工バツケージ型積算方式の標準単価、若しくは一般型枠の同じく無筋・鉄筋区分となっている。

しかしながら、構造物の施工が直線施工か、曲線施工（曲線半径50以下）かで作業効率や型枠資材ロス等の差異が多く発生し、曲線施工の場合は標準歩掛けと諸雑費率には実態と大きく乖離している。

このため、曲線半径区分における施工歩掛け調査等の検討をお願いしたい。

3 林道の線形について

【那賀】

林道の曲線について、R15の場合、3分勾配でH=6.0mであれば、1段目の型枠のRが13近くになり、型枠の設置が困難であるとともに、費用も通常以上に発生する。

このため、林道のカーブ設定の際に、Rをもう少し大きく出来ないか検討していただきたい。

歩掛調査のご要望については国へ伝えて参ります。

林道の線形については、地形の状況に応じた線形計画とし、曲線半径は設計車両や設計速度毎に、規定値の範囲内で設定しています。

曲線半径が小さい箇所での型枠設置作業に労力を要する事は承知しております。

地形条件等から、やむを得ず小さい曲線半径を設定する箇所がありますが、今後とも、使い易い林道となるよう心がけた設計を行って参ります。

以上の改善要望事項十四件につきましては、速やかに今後の事業執行に反映されるよう進めることとなりました。

また、委員会後の意見交換会においては、今年度より県の方で実施する、中山間地域における建設業の新たな「担い手確保・育成」土育（つちいく）に向けた取り組みについて、田中森林整備課長から実施マニュアルの説明及び「森林土木工事」魅力発信PR・4K動画の上映があり、これらの話題提供をもとに、活発な意見交換が行われました。

今後とも各支部からの要望事項については、改善に向けた課題解決を図るとともに、必要に応じ中央会の技術・労働委員会等を通じ、林野庁の関係各課へ要望を行って参りたいと考えております。



令和五年度 施工管理技術基本研修会開催

施工管理技術基本研修会を令和五年八月一日に、美馬市穴吹町「清月屋敷」（メイン会場）及び徳島県建設業協会那賀支部（サテライト会場）において、開催しました。
本研修会は、会員の要望により、令和三年度から

新たに開催しており、治山林道事業に従事する若手技術者等を対象に、業務に係る基礎的な知識・技術等を習得させることにより、施工管理技術の向上および現場の安全管理の徹底に資することを目的として実施しました。



研修会開催状況（メイン会場）



研修会開催状況（サテライト会場）



ZOOMによる
配信状況

新型コロナウイルス感染症の五類移行後の初めての研修会となりましたが、ZOOMを活用したハイブリッド形式を採用

することにより、二会場同時進行で研修を実施した結果、昨年度を大幅に超える一〇七名の会員が受講することができました。

また、受講者には全国土木施工管理技士会連合会の継続教育学習制度CPDSの受講証明書（unit）が交付されました。

研修の講師及び概要については次のとおりです。（敬称は略させていただきます。）

研修Ⅰ 山地斜面で発生する土砂災害の 特徴と予測

徳島大学大学院

准教授 西山 賢一

平成三十年度の西日本豪雨で発生した土砂災害について、気象条件、地形・地質条件について検討した結果を報告するとともに、発生の予測に関する基礎的知識・技術を習得する。

研修Ⅱ 労働安全衛生について

三好労働基準監督署

労働基準監督官 小 浦 諒

高所や急傾斜地での施工が中心となる治山林道工事において、労働災害ゼロに向けた危険予知活動等の基礎的知識・技術を習得する。

研修Ⅲ 施工管理技術について

徳島県農林水産部森林整備課

係長 村上 高夫

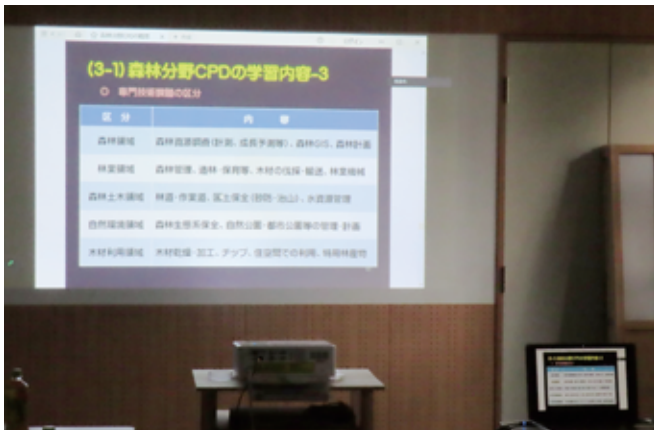
治山林道工事を計画的に進め、品質の高い構造物を早く、安く、安全に作るために必要な施工管理の基礎的知識・技術を習得する。

令和五年度 森林土木総合技術研修開催

令和五年九月六日から七日までの二日間、徳島県木材利用創造センター小講義室において、令和五年度森林土木総合技術研修を開催しました。



研修会開催状況



ZOOMによるオンライン研修



全国で、五十五名の参加者のうち、本協会からは八名の会員が受講し、CPDS単位を合計112unit交付しました。

本研修会は、全国森林土木建設業協会が主催で、WEB会議システム「ZOOM」を使用したオンラインセミナー形式で実施されていますが、本協会ではプロジェクターを活用した少人数による集合研修として実施しています。

研修カリキュラムでは、森林・自然環境技術教育研究センター 上河専務理事による「技術者倫理と継続学習」の講義をはじめ、中部地方整備局 平賀ICTアドバイザーによる「小規模土木工事におけるICT施工の取り組み」などの非常に興味深いテーマでの講義が行われました。

研修Ⅰ 技術者倫理と継続教育

(公社)森林・自然環境技術教育研究センター
専務理事 上河 潔

研修Ⅱ 森林土木事業の推進に向けて

林野庁森林整備部整備課
森林土木専門官 市川 裕子

研修Ⅲ 日本の路網技術について

東京大学名誉教授 酒井 秀夫

研修Ⅳ 治山事業の施工にあたって

「治山を知るための基礎知識」
(株)山地防災研修所
代表取締役 櫻井 正明

研修Ⅴ

新・担い手三法の改正に伴う変化と対策及び多様な側面からの安全管理について

(株)コンピュータシステム研究所 土木事業部
企画戦略課リーダー 松野 哲哉

研修Ⅵ 森林土木工事と会計検査について

アジア航測(株)
技師長 菊池 護

研修Ⅶ

小規模土木工事におけるICT施工の取り組み

中部地方整備局
ICTアドバイザー 平賀 健太

県人事異動

(令和5年6月1日付け)

《 》は旧所属

◎農林水産部

部長 中藤 直孝

《農林水産部みどり戦略推進統括監》(R5.8.9付け)

◎農林水産部森林整備課

課長補佐(森林整備担当) (リーダー)

永本 吉宏

《総合政策課 課長補佐(政策創造担当)》

課長補佐(森林整備担当)

酒本 祐樹

《西部総合県民局農林水産部〈三好〉 課長補佐(森林整備担当)》

課長補佐(森林整備担当)

面田 耕市

《森林整備課 主査兼係長(森林整備担当)》

係長(森林整備担当)

村上 高夫

《東部農林水産局〈徳島〉 係長(森林整備担当)》

主任 滝根 裕太郎

《森林整備課 主任主事(森林整備担当)》

主任 長澤 倫太郎

《東部農林水産局〈徳島〉 主任主事(農村整備第二担当)》

主任主事 雑賀 真人

《農山漁村振興課 主任主事(地積・技術管理担当)》

◎東部農林水産局〈徳島〉

課長(森林整備担当) (リーダー)

西岡 篤

《西部総合県民局農林水産部〈三好〉 課長(森林整備担当) (リーダー)》

課長補佐(森林整備担当)

秋田 哲也

《森林整備課 課長補佐(森林整備担当) (リーダー)》

課長補佐(森林整備担当)

山西 昭広

《西部総合県民局農林水産部〈美馬〉 課長補佐(森林整備担当)》

課長補佐(森林整備担当)

馬場 哲之

《西部総合県民局農林水産部〈美馬〉 課長補佐(森林整備担当)》

課長補佐(森林整備担当)

馬場 哲之

《西部総合県民局農林水産部〈美馬〉 課長補佐(森林整備担当)》

課長補佐(森林整備担当)

馬場 哲之

《西部総合県民局農林水産部〈美馬〉 課長補佐(森林整備担当)》

課長補佐(森林整備担当)

馬場 哲之

林整備担当)》

主任(森林整備担当)

亀谷 遼

《南部総合県民局農林水産部〈那賀〉 主任(森林整備担当)》

◎東部農林水産局〈吉野川〉

課長(林務担当) (リーダー)

西岡 健治

《西部総合県民局農林水産部〈美馬〉 課長(森林整備担当) (リーダー)》

課長補佐(林務担当)

田岡 純司

《森林整備課 課長補佐(森林整備担当)》

◎西部総合県民局農林水産部〈美馬〉

課長(森林整備担当) (リーダー)

松下 俊郎

《東部農林水産局〈徳島〉 課長(森林整備担当) (リーダー)》

課長補佐(森林整備担当)

久積 崇広

《スマート林業課 課長補佐(造林・担い手担当)》

主査兼係長(森林整備担当)

黒川 啓司

《森林整備課 主査兼係長(森林整備担当)》

主任主事(森林整備担当)

橋本 翔真

《西部総合県民局農林水産部〈美馬〉 主事(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

西浦 祥平

《南部総合県民局農林水産部〈美波〉 主事(林務担当)》

◎西部総合県民局農林水産部〈三好〉

課長(森林整備担当) (リーダー)

井川 俊昌

《東部農林水産局〈吉野川〉 課長(林務担当) (リーダー)》

課長補佐(森林整備担当)

瀬高 哲郎

《東部農林水産局〈徳島〉 課長補佐(森林整備担当)》

課長補佐(森林整備担当)

山崎 正博

《東部農林水産局〈吉野川〉 課長補佐(林務担当)》

主査兼係長(森林整備担当)

藤丸 幸典

《南部総合県民局農林水産部〈那賀〉 係長(森林整備担当)》

主査兼係長(森林整備担当)

藤丸 幸典

《南部総合県民局農林水産部〈那賀〉 係長(森林整備担当)》

備担当)》

備担当)》

主査兼係長(森林整備担当)

下元 経寛

《西部総合県民局農林水産部〈三好〉 係長(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

宮田 優一

《森林整備課 主事(森林整備担当)》

◎南部総合県民局農林水産部〈美波〉

課長(林務担当) (リーダー)

木本 正

《農林水産部付(徳島森林づくり推進機構派遣)》

主事(林務担当)

坂前 奈緒也

《東部農林水産局〈徳島〉 主事(森林整備担当)》

◎南部総合県民局農林水産部〈那賀〉

課長補佐(森林整備担当)

井川 恭一

《東部農林水産局〈徳島〉 課長補佐(森林整備担当)》

主事(森林整備担当)

大串 充己

《西部総合県民局農林水産部〈美馬〉 主事(森林整備担当)》

◎治山・林道関係以外に転出された方々

危機管理環境部長

平井 琢二

《農林水産部長》

農林水産部付(徳島森林づくり推進機構派遣)

田中英士

《南部総合県民局農林水産部〈美波〉 課長(林務担当) (リーダー)》

主査兼係長(森林企画担当)

山部 隆雄

《西部総合県民局農林水産部〈三好〉 係長(森林整備担当)》

財政課主任(政策創造担当)

桑田 悠司

《西部総合県民局農林水産部〈三好〉 主任(森林整備担当)》

農山漁村振興課 主任(振興・創生担当)

永田 弥生

《森林整備課 主任主事(森林整備担当)》

農山漁村振興課 主任主事(地積・技術管理担当)

栗原 大起

《西部総合県民局農林水産部〈三好〉 主任主事(森林整備担当)》

備担当)》

備担当)》

備担当)》

備担当)》

備担当)》

備担当)》

備担当)》

備担当)》

第39回治山林道写真コンクール

「第39回治山林道写真コンクール」を開催しましたところ、県内在住の幅広い年代の方々から、会心の作品を130点ご応募いただきまして、大変ありがとうございました。

このコンクールは、森林が持つ、「水を育み・災害を防止する」などの公益的機能を維持増進するために実施している治山林道事業をPRするものです。

去る6月16日に、県庁森林整備課担当をはじめとする審査員により、厳正な審査の結果、徳島市の森本様の作品をはじめ9点が入賞しましたので、発表いたします。受賞された皆様方に心からお祝い申し上げます。



審査状況



優秀賞 清水 幸宏



優秀賞 丸田 泰史



優秀賞 芦田 瑞樹

入賞者

最優秀賞【1点】	徳島市	森本 康太
優秀賞【3点】	海陽町	清水 弘之
	徳島市	丸田 泰史
	三好市	芦田 瑞樹
佳作【5点】	東みよし町	福田 将紀
	美馬市	田本 宏美
	神山町	森下 悟至
	東みよし町	横関 高志
	徳島市	岡田 育大

編集後記

新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類に移行し、経済活動が復調するものの、完全な収束は未だ見通せない状況にあります。

このような中始まった令和6年度林野公共事業予算の概算要求については、森林整備と治山の両事業ともに、対前年度比では19.8%増で、限度額いっぱい要望となっています。

また、昨年度同様に「国土強靱化のための5か年加速化対策」、「TPP対策」及び「食料安全保障対策」に係る経費については、事項要求として「予算編成過程で検討」することとなり、経済対策としての今年度補正予算を含めて議論されると思われます。

今後とも、本県の治山林道事業の予算拡大に向け、中央協会等と連携の上、十分気を引き締めて取り組んで参りたいと考えておりますので、会員の皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集責任者 井関 廣幸

本協会の主な動向（4月～10月）

- 5月 24日(水) 令和5年度治山・林道四国地区協議会(高知市)
- 6月 8日(木) 第35回施工委員会(徳島市:建設センター)
- 16日(金) 第39回治山林道写真コンクール審査会(徳島市)
- 21日(水) 令和5年度一般社団法人全国森林土木建設業協会定時総会
- 29日(木) 令和5年度公益社団法人徳島森林づくり推進機構通常総会(徳島市)
- 7月 3日(月) 令和5年度徳島県治山林道協会 第1回役員会
第65回通常総会(徳島市:建設センター)
- 14日(金) 徳島県山地防災ヘルパー連絡協議会 第27回役員会議
- 28日(金) 令和5年度徳島県森林協会通常総会(徳島市:自治会館)
- 8月 1日(火) 令和5年度施工管理技術基本研修会(メイン会場:美馬市「清月屋敷」)
(サテライト会場:徳島県建設業協会那賀支部)
- 23日(水) 林野公共事業予算に関する要望活動(東京都:林野庁ほか)
- 24日(木) 令和5年度とくしま木づかい県民会議通常総会(徳島市)
- 9月 6日(水)・7日(木) 令和5年度森林土木総合技術研修
(徳島市:徳島県木材利用創造センター)
- 13日(水) 令和5年度一般社団法人日本治山治水協会定時総会(東京都)
- 22日(金) 令和5年度施工委員会コンサル関連意見交換会(徳島市:建設センター)
- 10月 12日(木) 全国治山林道協会会長会議(徳島市:ホテルグランヴィリオ徳島)
- 13日(金) 〃 現地視察(三好市:板野町)
- 21日(土)・22日(日) とくしま木づかいフェア2023板野町:あすたむランド徳島
- 24日(火) 令和5年度治山林道技術研修会(西部会場)
- 25日(水) 〃 (東部会場)
- 26日(木) 〃 (南部会場)